

議会中継と木材流通状況を視察

輝くふるさと常任委員会では、4月19日と20日、鈴木重男町長も同行して、宮城県石巻市の市議会とセイホク株式会社の行政視察を行いました。

初日に視察した石巻市議会では、議会中継の充実を図っており、議場の正面と真後ろにカメラを1台ずつ設置し、本会議の生中継を行っています。光ファイバーが接続されている総合支所や庁舎内の市民の部屋、記者クラブ、職員のパソコンで見ることが出来ます。

また、平成20年2月から9回、市民グループ等による大正琴やマンドリン、三味線などのコンサートを議場で開催しています。



石巻市議会では議会中継システムについて研修する町議員（石巻市議会本会議場）



原木を直径3cmまでむく技術の開発や資源循環に配慮しているセイホク工場内

これは、一人でも多くの市民から議会へ足を運んでもらいたいと始めた取り組みです。

翌日はセイホク株式会社を訪問し、木材の流通状況等について、視察を行いました。

合板用の国産原木の取り扱い数量は、17年度に対し20年度は約2.5倍に増加。しかしながらその後の景気悪化により、21年度はピーク時の約7割程度まで落ち込んでいるとの説明を受けました。

今後の検討課題として、約6割が輸入製品である塗装合板への参入や、合板等の組み合わせで鉄板の代わりができないかなど、試験を行っています。



条例

『町税条例の一部改正』

『住民税に関する事項』

◇ 地方税法の改正により、16歳未満に係る扶養控除と、16歳以上19歳未満に係る扶養控除の上乗せ分が廃止となりますが、住民税非課税限度額の算定のため、引き続き子の扶養情報が必要なことから、情報収集の根拠を定めました。

◇ 65歳未満で給与所得のある方は、年金所得を合算して給与所得から徴収できることとなります。

『たばこ税に関する事項』

◇ たばこ税の税率が平成22年10月1日から、引き上げになります。

『国民健康保険税に関する事項』

◇ 基礎課税額の課税限度額を47万円から50万円に、後期高齢者支援金額等の課税限度額を12万円から13万円に引き上げます。

『企業立地促進条例の一部改正』

◇ 新規雇用者の人数要件を10人以上から5人以上に緩和し、対象企業を拡大するとともに、補助率を10分の1から10分の2に改めます。

また、新規雇用者の人数が25人以上となる立地については、補助率を10分の2から10分の3に引き上げます。

◇ 増設に伴い雇用者の増が25人以上の増設については、補助率を10分の2から10分の3に引き上げます。

22年度補正予算

一般会計に3億1560万円を追加し、総額を50億5986万円としました。

主なものは次のとおりです

◇ 町村合併55周年記念事業（東京多摩交響楽団ふれあいコンサート、山ぶどうサミット、太鼓フェスティバル）457万円

自治総合コミュニティ助成金

（江刈馬淵・車門・四日市自治会等の音響設備、テントほか購入）750万円

◇ 口蹄疫対策経費（畜舎消石灰散布）550万円

◇ 第12分団屯所用地取得費 126万円

◇ 第12分団旧屯所解体等事業費



700人の聴衆を魅了した東京多摩交響楽団ふれあいコンサート

「平庭トンネル」の早期着工を願う

第9回国道281号平庭トンネル早期着工完成促進住民大会は6月5日、久慈市山形町の平庭山荘で、国会議員や県議会議員、本町と久慈市の住民など、約190人が参加して開かれました。

大会では、久慈市山形町の橋本香澄さんが、心臓に障害を抱えた弟が、久慈市から盛岡市の病院へ救急搬送された際の体験談などを交え、「私たちの命の道」であり、「生活の道」でもある平庭峠の早期改良を訴えました。



国道281号は「命の道」と訴える橋本香澄さん

補助金 156万円

◇ 乳幼児等予防接種（保健センター）での集団接種から葛巻病院での個別接種へ）297万円

◇ 地域づくり振興基金ほか2基金（町の貯金）の積立金 2億8000万円

請負契約

◆地域情報化基盤（放送サービス等）整備工事

・契約金額 8億2845万円
・契約相手 東日本電信電話（株） 岩手支店

財産取得

◆第2分団消防ポンプ自動車

・契約金額 1837万円
・契約相手 互光商事（株）

指定管理

くずまき高原体験交流センター（写真7ページ）の指定管理者に、社団法人葛巻町畜産開発公社（鈴木重男理事長）を指定することを議決しました。

指定期間は、平成22年8月16日から27年3月31日までです。



スクールバスでも「冬道は怖い」と発表する葛巻高校3年・出町由里香さん

続いて、久慈市山形町から葛巻高等学校に、16人の仲間と一緒にスクールバスで通学している出町由里香さんは、「バスは大きく曲がらなくてはならないため、冬場の凍結した道路は本当に怖いです。」と交通事故防止の観点から、意見発表を行いました。

この大会は、急勾配が連続し交通の難所となっている「平庭峠」へ、トンネルの早期着工を訴えるとともに、「県内90分ネットワーク構想」の実現に向けて開催しています。